

VG 槻輪だより

会報 第215号
発行日 令和4年8月1日
発行・編集 VG 槻輪
代表者 大岡成一
<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

わがまち紹介 活動報告

弥生時代の生活

対外交流の
様子を知り
日本文化の
源流が学べる

大阪府立

弥生文化博物館見学

7月14日、天気予報では小雨模様でしたが、VG 槻輪の参加者が良いので、どんよりした天気でしたが雨には逢いませんでした。

朝 JR 信太山駅改札出口に全員集合し、駅の西にある踏切を渡ると茶色い舗装道路です。



道路のマンホール蓋

道路のマンホール蓋もガイドになり、曲がりくねって約800m進むと大阪府立弥生文化博物館へ着きました。館では一括入館手續をし、手の消毒と検温しました。各人には音声ガイド・イヤホンをお借りすることになりました。

ヤホンをお借りすることになりました。



ホールで学芸員さんの説明を聞く会員

まず、エントランスホールで、学芸員の飯村さんにフロアの展示内容等を説明して頂きました。2階常設展示、第1展示室…



実物大の竪穴住居
弥生人の家族の一家団欒

第2展示室… 池上曾根ワールド



後期 中期 前期
第2展示室
弥生プラザ
水差形土器の世界

展示室の外側の廊下にもその時々展示内容が変わって展示されていました。

第1展示室 目で見る弥生文化

第①ゾーン

米つくりの始まり
弥生時代に入り水田で米作りが本格的にはじまり定住、ムラが作られていった。春、水田を耕すには鍬・鋤(スコップ)田下駄(地均し鍬)等が木製で作られた。



春の田づくり風景

秋、コメの収穫のためには稲穂を石の鎌で刈り取る。



秋の収穫風景

第②ゾーン 新しい技術の誕生



糸を紡ぎ、布を織る

弥生時代になると、自分で糸を紡(つむ)ぎ、布を織り、その布で着物を縫っていた事です。縄文時代に布は作られていたが編んでいく方法でした。

第③ゾーン ムラ・戦い・クニ



卑弥呼の館の大型模型

3世紀の卑弥呼の住まい・高殿・政所・倉庫群・環濠・物見櫓や、他国の王の使者・裁きの様子・兵士・市のにぎわいなどの情景をこ

とこまかく描きだしました。

第4ゾーン 弥生人

弥生人の人面を描いた土器など弥生人の姿を集めています。

第5ゾーン 交流

たくさんの資料を、「列島内の交流」と「大陸との交流」の小テーマにわけて見せています。

第6ゾーン 死とまつり



埋葬品の棺や壺等展示

近畿の組合式の木棺と北部九州の巨大な甕棺の実物を展示し、墓の形式の地域による違いを示しています。大阪府立弥生文化博物館は地元弥生文化全般を広く対象とする全国で唯一の博物館です。

2022年8月 わがまち紹介
瀬田の唐橋を征するものは天下を征する
大津市科学館・膳所城跡見学

月 日：2022年8月4日(木)

集合場所：JR 膳所駅 改札口 集合

訪問先：大津市科学館・膳所城見学

その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。

第18回 たかつき NPO 協働フェスタ

今こそひろげよう NPO の輪

～みんなの笑顔をつなげたい～

月 日：2022年9月1日(日)

会場：高槻市総合庁舎1階展示ホール・庁舎前

展示：VG 槻輪は立体展示して楽しみましょう！！